

# 短期入所不安浮き彫り

重症心身障害児・者アンケート

家族の抱病など緊急時にも安心して、慣れ親しんだ施設にいる施設の子を預けたい。重症心身障害児・者を一時的に受け入れる短期入所のアンケート結果をまとめた。福岡市のNPO法人が当事者向けのアンケート結果をまとめた。希望日まで1カ月を切って申し込んだ人全員が「ほぼ満床だった」と答えるなど、緊急時に利用できる環境が整っていない実態が浮き彫りになった。

## 利用環境整わず

アンケートは、障害児の親などでつくるNPO法人「障がい者・より良い暮らしネット」(服部美江千代妻)が昨年7月に集計。県内に住む約150名から印刷代までの障害児・者や介護する家族など計66人から回答があった。

アンケートは、障害児の親などでつくるNPO法人「障がい者・より良い暮らしネット」(服部美江千代妻)が昨年7月に集計。県内に住む約150名から印刷代までの障害児・者や介護する家族など計66人から回答があった。

希望する受け入れ先について、45人が「日中通っている事業所」と回答。本人も家族も安心してできる条件(複数回答可)としては、「緊急時や急な申し込みでも利用できる」が42人▽「本人をよく知っている職員がいる」38人▽「送迎がある」31人し続いた。



県肢体不自由児者福祉連合会は3月8日午後1時～同4時半、福岡市中央区の市立心身障がい者福祉センターで、「脱・家族介護を考える」と題したフォーラムを開く。NPO法人「障

### 「脱・家族介護」考える 来月8日にフォーラム

がい者・より良い暮らしネット」が今回のアンケート結果について解説するほか、介護事業所や当事者家族らによる報告もある。参加無料。服部代表＝090(7392)1000。



街頭で募金活動をする「九援隊」と「くまのこ」のメンバー

災害ボランティアを派遣するNPO法人「九援隊」は東日本大震災で被災した宮城県での活動に参加する市民を募集している。

日程は20日午後9時半、福岡空港から福岡空港に出発。ロビーで仮眠した後、21日早朝、仙台空港に向かい、石巻市や東松島市を訪問する。22日は高台移転事業が予定されている各取市町上で、避難の泥をさぐりながら遺品や貴重品を探す活動に参加。23日は東松島市の避難仮設住宅と高齢者向けの「コンサート」を開く。24日夕方に福岡空港に着き、ボランティアの帰路を準備する。

## 求む被災地ボランティア

NPO「九援隊」21日から宮城県訪問

岡田の15日、お寺、無断、返給、や、ベト、の、と

1カ月前では1割未満にとどまり、申し込みが厚くなるほど受け入れが困難な状況。白田記述では、「親類の葬儀に参列できなかった」と「緊急時にどうしているかわからない」など、不安の声が目立った。

服部代表は「障害が重くなるほど断られるケースも多く、受け皿がないと家族の生活が成り立たない」と話した。

港空九州北九州  
間IC | 一行  
ソ

